

令和4年度 事業計画

公益財団法人 日本股関節研究振興財団

I 基本方針 — いつまでも元気で歩くために —

公益財団法人 日本股関節研究振興財団は、昭和62年の設立以来、股関節に関する研究、診断治療技術の開発及び運動器の健康寿命を延伸するための研究を奨励して参りました。

令和3年は、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策としてワクチン接種が進展した等の要因で感染の波は第5波までに抑えられてきましたが、年末から新たな変異株の感染拡大が懸念されています。

財団は本年で創立35年の節目を迎え、新たなステップに入ります。財団の原点に立ち返り、その活動を進めて参ります。

さて、日本国内に目を向けますと、より一段と高齢化が進み、股関節に悩める人がますます増加している状況にあります。

その中でも股関節疾患には、発育性股関節脱臼、変形性股関節症、ペルテス病、大腿骨近位部骨折、股関節の脱臼骨折など、治療法は進歩しつつもいずれも簡単に治癒できないような疾病には変わりはありません。

一方、日本は世界一の長寿国となりました。しかし必ずしも全ての人が元気なまま、長寿を全うするわけではありません。統計では、平均寿命から心身ともに自立した生活を送ることが出来るいわゆる健康寿命を差し引いた期間は9~13年にもおよび、この期間は、病気で入院したり、寝たきりや介護を受けていることとなります。このような介護状態を減らし、いつまでも元気で歩くために、特に人間の歩行に重大な機能を担っている股関節をケアすることが重要となっております。

このことは、国も「新健康フロンティア戦略」及び「健康日本21」の事

業で推進しています。

また、コロナ禍の行動制限などの影響もあり、「ロコモティブシンドローム」といわれる運動器の機能低下がより一層深刻化され、また、日本老年医学会が「フレイル」という概念を提唱してから、数年が経ちましたが、このコロナ禍をきっかけとして健常なうちから「フレイル」を予防することの重要性が叫ばれ始めました。

人生100年時代を迎える中での当財団が果たすべき役割は、さらに増しているものと考えております。

本年も当財団は、設立の原点である股関節障害の不安を取り除くための「股関節の学術研究の奨励と普及啓発」、「ストップ・ザ・ロコモティブシンドローム」、「フレイルの予防」及び「健康寿命延伸」のための活動に積極的に取り組み、社会貢献を果たして参ります。

II 個別事業

1. 助成事業（公1）

（1）助成金支給事業

① 研究助成事業

股関節疾患及び股関節に関する他の疾患の学術研究、診断と治療技術の開発及び健康寿命を延伸するための研究に関する優秀な研究に対して、公募により助成を行います。なお、応募要項については、国公立・私立大学の医療機関と、民間の医療機関の研究課題を明確化し、

応募しやすくなるよう見直すこととします。

- ア 助成金額 1件 70万円以内
- イ 助成件数 3件以内
- ウ 選考方法 理事会で選出された学術経験者による助成選考委員会にて内定します。

② 研修助成事業

ア 海外研修助成事業

令和4年度は、海外研修助成の公募を再開し、再延期となっている令和2年度の海外研修の実施を予定しています。

- (7) 助成金額 1件 35万円以内
- (イ) 助成件数 3件程度
- (ウ) 選考方法 理事会で選出された学識経験者による海外研修助成選考委員会にて内定します。

イ 国内研修助成事業

股関節医療の発展に貢献できる人材を育成するため、国内の研究機関において国内研修を実施することとし、トップレベルの研究者から専門知識を習得するための研修に対して、公募により助成を行います。

- (7) 助成金額 1件 15万円以内
- (イ) 助成件数 4件程度
- (ウ) 選考方法 理事会で選出された学識経験者による国内研修助成選考委員会にて内定します。

(2) 研究・研修成果報告書作成事業

研究及び研修助成金の成果報告書を作成し、厚生労働省、各大学医学部及び関係機関に配布します。

研究成果報告として、本年は、令和2年度に当財団が交付した研究助成金により、令和2年から令和3年に実施された3件の研究成果を取りまとめます。

また、当財団が交付した研修助成金により、再延期となっていた令和2年度海外研修成果報告と令和3年度国内研修成果報告として2件の研修成果を取りまとめます。

① 研究成果報告書

ア 「全自動リアルタイムPCR および次世代シーケンサーを用いた人工股関節周囲感染の診断と病態の解明」

横浜市立大学 崔賢民

イ 「健康寿命を延ばす純国産人工股関節の研究開発」

千葉大学 中村順一

ウ 「骨髄機能に着目した大腿骨近位部骨折の予防戦略」

東北大学 荒井誠

② 海外研修成果報告書

(研修者)

名古屋市立大学リハビリテーション医学分野 黒柳 元

千葉大学大学院整形外科 中村 順一

金沢大学附属病院整形外科 吉谷 純哉

③ 国内研修成果報告書

(研修先)

未定

(研修者)

ア 神戸大学附属病院 整形外科 黒田 雄一

福山市民病院 整形外科 河村 涌志

イ 防衛医科大学校 整形外科 小林 紘樹

神奈川リハビリテーション病院 整形外科 佐藤 龍一

(3) 股関節研究セミナー開催事業

医療関係者等に対して股関節疾患に関する治療方法等の研究成果並びに海外及び国内研修成果報告のセミナーを新型コロナの感染状況を見極めた上で対面またはWEBにより10月に開催予定です。

① 研究助成事業

本年は、令和元年度の研究助成金による研究について、下記の2件の研究成果を発表する予定です。

(7) 「人工股関節全置換術における、高機能TiNbSn合金の臨床的有用性の検討」

東北大学 千葉大介

(イ)「変形性股関節症に対する PRP 関節内注射療法の疼痛改善
効果に関する臨床研究」

高知大学 岡上裕介

② 海外研修助成事業

本年は、令和 2 年度から令和 3 年度へ延期した研修について、
結果報告を発表する予定です。

(研修者)

名古屋市立大学 黒柳元

千葉大学 中村順一

金沢大学 吉谷純哉

③ 国内研修助成事業

本年は、令和 2 年度から令和 3 年度へ延期した研修及び令和 3
年度の研修について、結果報告を発表する予定です。

(研修者)

ア 令和 2 年度

札幌医科大学 清水淳也

岡山大学 山田和希

神戸大学 高島良典

京都府立医科大学 林 成樹

イ 令和 3 年度

神戸大学 黒田雄一

福山市民病院 河村涌志

防衛医科大学校 小林紘樹

神奈川リハビリテーション病院 佐藤龍一

2. 普及啓発事業（公2）

（1）股関節市民フォーラム開催事業

一般市民の方々を対象に、股関節の病態、予防等についての正しい知識をわかりやすく、役立つ講演を中心に股関節市民フォーラムを対面またはWEBで開催する予定です。

（2）普及啓発事業

本年度も、「人工関節ステッカー」を作成・配布して、広く一般国民の方々向けに股関節に関する情報提供を行い、普及啓発を図ります。

また、新たに小児股関節疾患を中心に早期発見のポイント等について情報提供を行い、普及啓発の取組みを展開します。

（3）インターネット情報提供事業

本年度も引き続き、ウェブサイトの内容を充実し、より見やすく、タイムリーに新しい情報を公開します。

3. 運動器健康寿命延伸事業（公3）

(1) 運動器健康寿命延伸体操の研究開発及び普及促進事業

健康寿命延伸のための股関節を中心とする「運動器健康寿命延伸体操（ロコモ体操）」の研究開発をすすめ、外部機関が開催する講演会等へ出演し、「ロコモ体操」の普及を促進します。

(2) 体操指導者研修事業

運動器の健康寿命延伸のため、広く一般国民に運動器、特に股関節の重要性を周知する、正しい知識を持った専門家の養成研修を新型コロナウイルスの感染状況を見極め、感染防止対策を講じて実施する予定です。

4. 管理事業

令和3年度は、新型コロナウイルス感染の波の影響を受けて、WEB開催を行いましたが、本年も引き続き感染状況を見極めて対面またはWEBで開催します。

(1) 理事会

日 程	開催場所
令和4年5月	神戸市またはWEB
令和5年2月	横浜市またはWEB

(2) 評議員会

日 程	開催場所
令和4年6月	東京都またはWEB

(3) 監事監査

日 程	開催場所
令和4年4月	東京都（財団会議室）

5. 股関節らくらく募金

平成25年秋より導入し、現在参加者数82名（令和4年2月現在）です。

本年度は、参加者数の目標を90名とし、きめ細かいフォローにより財源の安定化を図ります。